

1 調査の背景

高知県では全国より先行して過疎化や高齢化が進んでおり、人口減少率と高齢化率は、ともに全国第3位となっています。(表1, 図1)

特に、**中山間地域では、その傾向が顕著で、担い手不足による産業活動や集落全体の活力が衰退しており、積極的な対策が求められています。**(図2)

※中山間地域:

高知県では、山間地及びその周辺の地域等地理的及び経済的に不利な地域として、地域振興に関する5つの法律(過疎地域自立促進特別措置法、山村振興法、離島振興法、半島振興法、特定農山村における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律)の規定範囲としている。

2 調査の目的

高知県では、昭和35年から5年ごとに国勢調査を基にした、「集落データ調査」を行ってきました。

今回、過疎化や高齢化が進行する中山間地域の集落を中心に、くらしや産業の実情、住民の皆様の思いを知り、中山間地域で望まれている施策の展開につなげるため、新たに集落代表者への聞き取り調査や、個人へのアンケート調査による「集落実態調査」を併せて実施しました。

3 調査の内容

従来からの調査

集落データ調査

市町村別、集落別の人口、世帯数等の数値分析

① 集落データ調査

〈H22 国調結果の数値分析〉

■調査対象数：2,537 集落

■データ内容

- ・県及び市町村の人口、高齢化率の推移
- ・集落数の推移
- ・世帯規模、人口増減、世帯数増減、高齢化率からみた集落の推移

※昭和35年から5年毎に定期的に調査

今回新たに行った調査

集落実態調査

中山間地域を中心とした、おおよそ50世帯未満の集落を対象に実施(主な内容：集落活動、生活(生活環境、安全・安心)、産業)

② 集落代表者聞き取り調査

〈訪問による聞き取り調査〉

■調査箇所：1,359集落

■対象：地区長等の代表者

■実施期間：平成23年8月～平成24年1月

■調査方法：

- ・調査員の訪問(面会)による聞き取り(県及び市町村職員同行有り)

■調査項目：64項目

漁業 11項目

③ 世帯アンケート調査

〈個人の記述による調査〉

■調査箇所：109集落

■対象：集落在住の20歳以上の方

■配布数：2,607世帯

(個人5,476人)

■調査方法：

- ・配布は、集落代表者等の協力による個別配布
- ・回収は、代表者等による回収又は郵送回収

■調査項目：世帯主 11項目

個人 33項目

表1- 高知県の人口減少率と高齢化率の全国順位 (国勢調査)

順位	都道府県	平成17年から22年での人口減少率(%)	順位	都道府県	平成22年の高齢化率(%)
1	秋田県	-5.19	1	秋田県	29.6
2	青森県	-4.41	2	島根県	29.1
3	高知県	-4.00	3	高知県	28.8
-	全国	0.23	-	全国	23.0

図1- 高知県の人口と高齢化率の推移 (国勢調査)

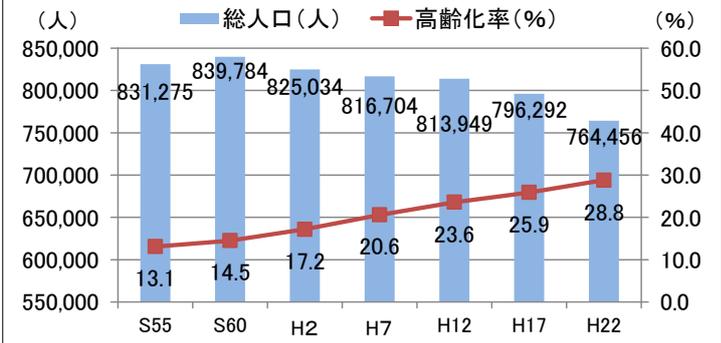
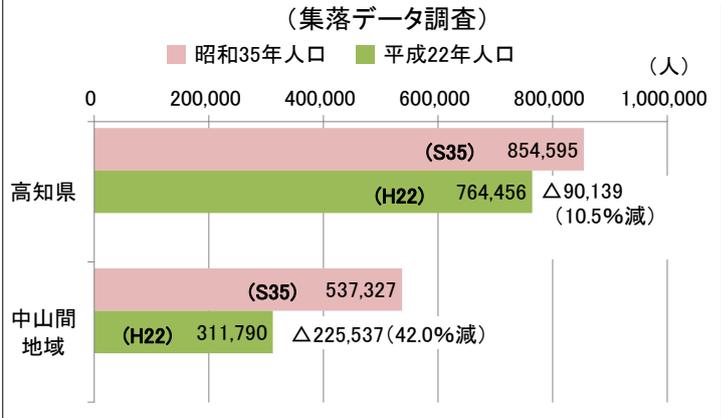


図2- 高知県と中山間地域の人口の推移(昭和35年との比較)



4 調査の結果 ※全119問のうち、主なものを以下に紹介します。

(1) 集落活動

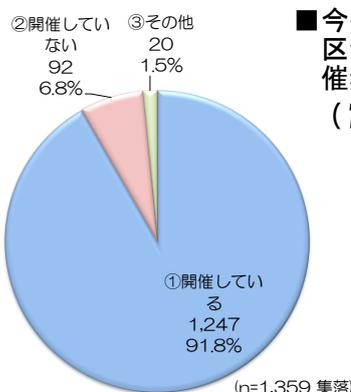
地区会（話し合い）の状況

集落代表者聞き取り調査

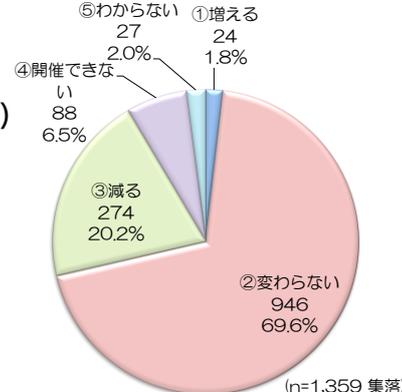
集落の地区会（話し合い）は、
91.8%の集落で、
「開催している」と回答しています。

今後（10年後）の開催頻度については、
69.6%の集落で、
「変わらない」と回答しています。

■地区会の開催状況
(現在)



■今後の「地区会」の開催頻度
(10年後)



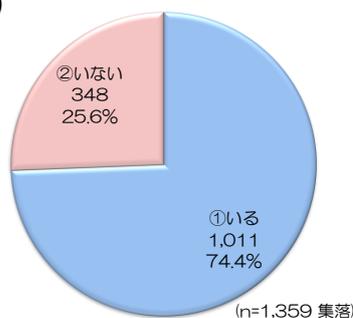
世話役（リーダー）の存在

集落代表者聞き取り調査

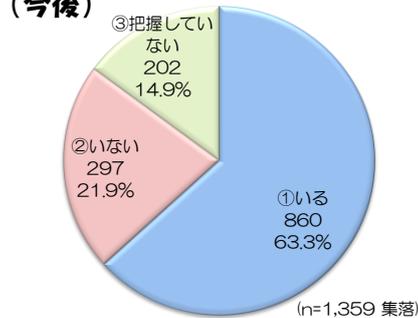
世話役（リーダー）の有無は、
74.4%の集落で
「いる」と回答しています。

世話役の後継者については、
63.3%の集落で、
「いる」と回答しています。

■世話役（リーダー）の有無
(現在)



■世話役の後継者の有無
(今後)



集落の地域活動、作業、行事の状況

集落代表者聞き取り調査

活動している共同作業は、

◆集落で管理する道路の草刈り **81.7%**

◆神社、仏閣、墓地の維持管理 **80.9%**

今後、困難になる活動は、

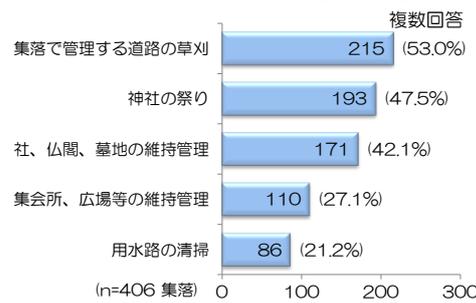
◆集落で管理する道路の草刈り **53.0%**

◆神社の祭り **47.5%**と回答しています。(n=1,359 集落)

■活動している共同作業（上位5位）
(現在の活動)



■困難になると思う共同作業（上位5位）
(今後、困難) ※406集落が回答



住民の共同作業への参加状況

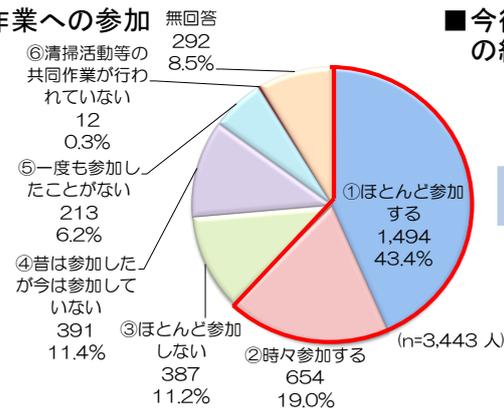
世帯アンケート調査

住民の共同作業への参加は、
62.4%の方が、
「参加する」と回答しています。

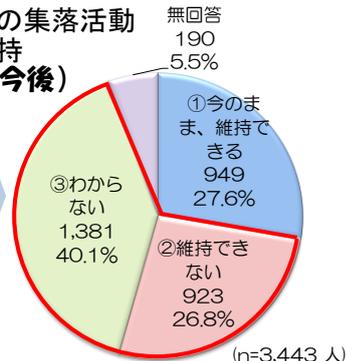
今後の集落の共同作業の維持については、
66.9%の方が、

「維持できない」「わからない」と回答しています。

■共同作業への参加
(現在)



■今後の集落活動の維持
(今後)



集落の将来

集落代表者聞き取り調査

集落の10年後について、

◆**衰退している** 63.8%

◆**消滅していると思う** 5.3%

◆**消滅している恐れがある** 6.0%

と回答しています。

(10年後)



◆**活性化の主な理由**
 ・若い世代がいる、人が増える可能性がある。

◆**衰退や消滅の主な理由**
 ・高齢化が進む
 ・人口や世帯が減少する
 ・若者や後継者がいない(少ない) 流出する

都市住民との交流イベントや特産づくり

集落代表者聞き取り調査

都市住民との「交流イベント」や「特産品づくり」について、

13.4%の集落で、

「**既に取組んでいる**」と回答しています。



◆**既に取組んでいる内容**
 ・農作物の栽培、販売等
 ・イベント、体験ツアー など

◆**これから取組みたい内容**
 ・農作物の栽培、販売等
 ・特産品開発、販売
 ・イベント、体験ツアー など

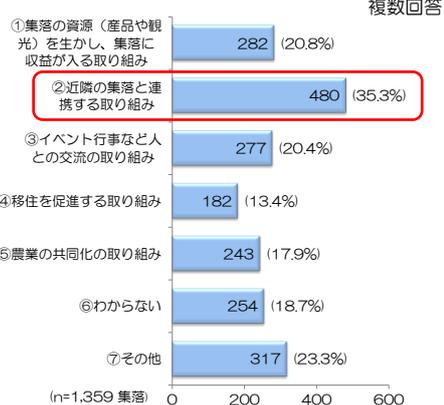
集落を活性化するための取り組み

集落代表者聞き取り調査

集落を活性化する取り組みは、

35.3%

の集落で、「**近隣の集落と連携する取り組み**」と回答しています。



集落の活性化に必要なこと

集落代表者聞き取り調査

集落の活性化の取り組みに必要なことは、

43.8%

の集落で、「**住民のやる気、意欲**」と回答しています。



◆**受け入れたい主な理由**

- ・地域や集落の活性化のため
- ・人口や世帯が減少しているため
- ・空家を有効に活用するため

◆**受け入れに必要なと思う主な支援**

- ・安心して空家を貸すことのできるルールづくりへの支援
- ・空家を活用する支援(修繕等)

Iターン移住者の受け入れ

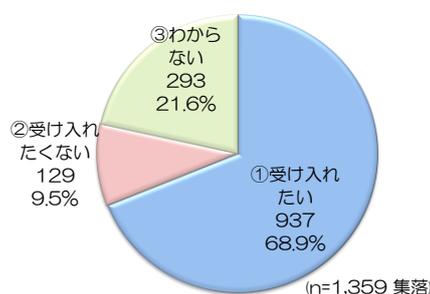
集落代表者聞き取り調査

Iターン移住者の「受け入れ」について、

68.9%の集落で、

「**受け入れたい**」と回答しています。

(移住への受け入れ意向)



※Iターン移住者:本調査では県内外を問わず、集落外から移り住んだ方を対象としています。

(2) 生活（生活環境、安全・安心）

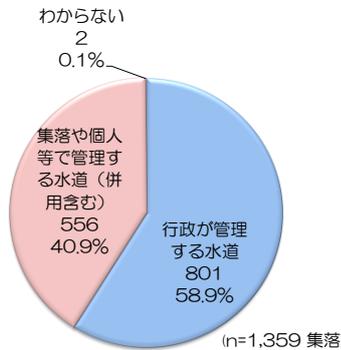
飲料水の確保

集落代表者聞き取り調査

飲料水の確保について、

40.9%

の集落で、**集落や個人等で管理する施設（併用含む）**を使用しています。



飲料水を確保するための課題は、

◆**施設の維持管理（作業量、手間）**

52.7%

◆**高齢化等による管理人員の不足**

41.0%

と回答しています。



生活用品の確保

集落代表者聞き取り調査

生活用品の確保については、**（現在の確保方法）**

84.3%の集落で、

「**市町村内の商店**」と回答しています。

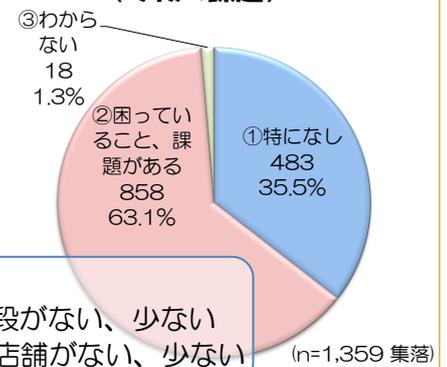
今後の課題については、

63.1%の集落で、

「**困っている、課題がある**」と回答しています。



（今後の課題）



◆**主な課題**

- ・移動手段がない、少ない
- ・近所に店舗がない、少ない

移動手段（実態）

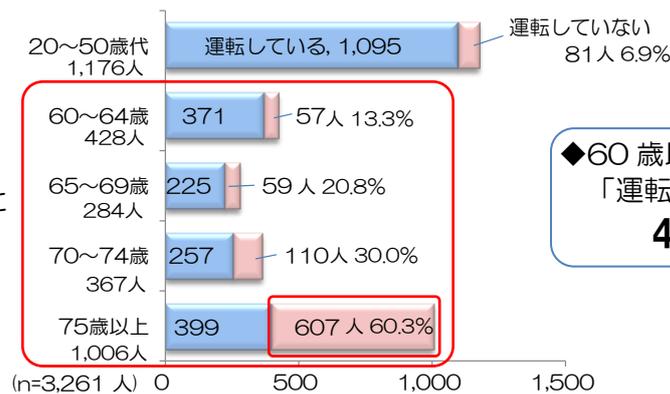
世帯アンケート調査

車やバイクの運転について、年代別にみると、

75歳以上の方のうち、

60.3%の方が、

「**自分で運転していない**」と回答しています。



◆**60歳以上の方のうち、「運転していない人」は、**

40.0% (833人/2,085人)

受信状態の悪い情報通信手段

集落代表者聞き取り調査

受信状態の悪い通信情報手段は、

◆**ラジオ**

27.4%

◆**携帯電話**

24.8%

と回答しています。



インターネットの活用

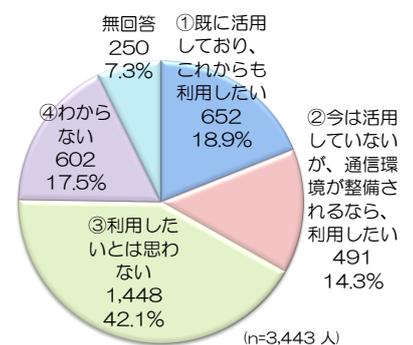
世帯アンケート調査

インターネットの活用状況は、

42.1%の方が、

「**利用したいとは思わない**」と回答しています。

◆**利用したいと思わない方の年代の多くが60歳以上の方**

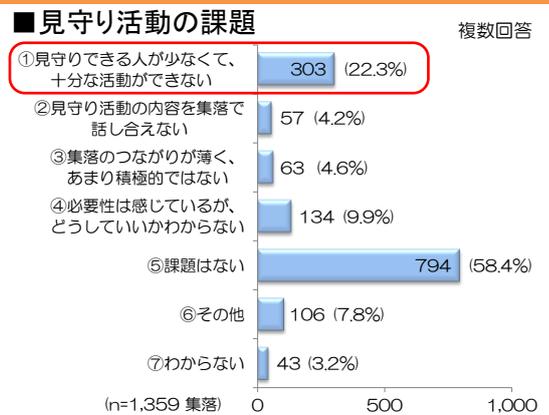
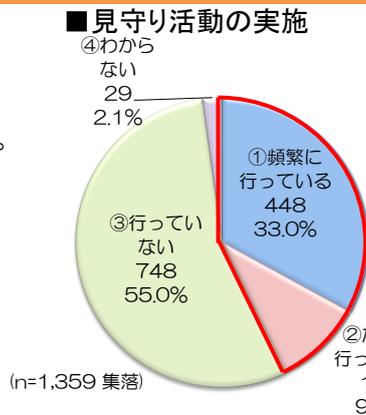


見守り活動

集落代表者聞き取り調査

集落の見守り活動については、
42.9%の集落で、
「行っている」と回答しています。

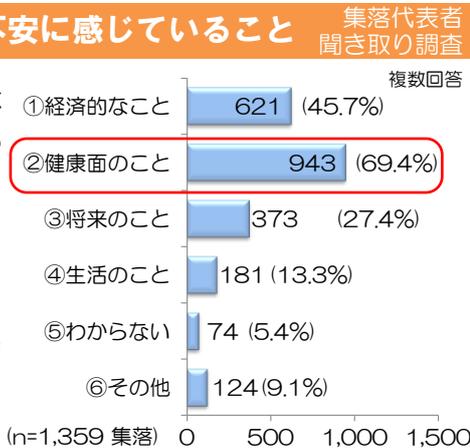
見守り活動の課題については、
22.3%の集落で、
「人が少なく、十分活動できない」
と回答しています。



日頃、生活で不安に感じていること

日頃の生活で、不安に感じていることは、
69.4%

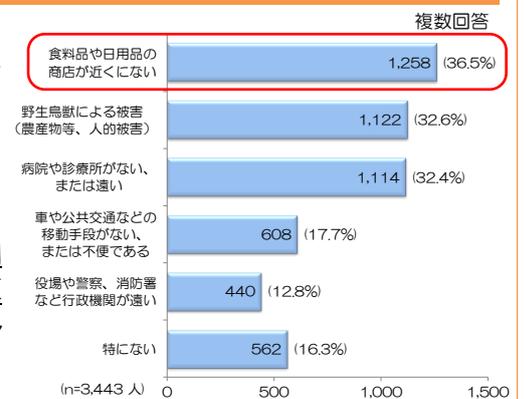
の集落で、
「健康面のこと」
と回答しています。



日々の暮らしの困りごとや不安

日々の困りごとや不安については、
36.5%

の方が、
「食料品や日用品の商店が近い」
と回答しています。



経済的な満足（必要な生活費）

あと、どの程度の生活費があれば良いかについて、
全体では、
「月5～10万円程度必要」との回答が最も多くなっています。

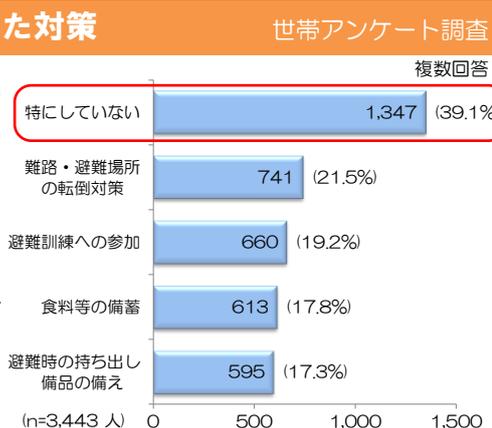
年代別にみると、
「40～50代」で、
「月15万円以上必要」との回答が多くなっています。



地震等へ備えた対策

地震等への対策について、
39.1%

の方が、
「特に何もしていない」
と回答しています。



自主防災活動に必要なこと

自主防災活動に必要なことについて、
「孤立した場合の物資の緊急搬送体制」や
「緊急搬送の支援体制」などがあげられています。



(3) 産業

集落の主要産業

集落代表者聞き取り調査

集落に**最も人が住んでいた時期**の主要産業は、

79.8%の集落で、「**農業**」と回答しています。

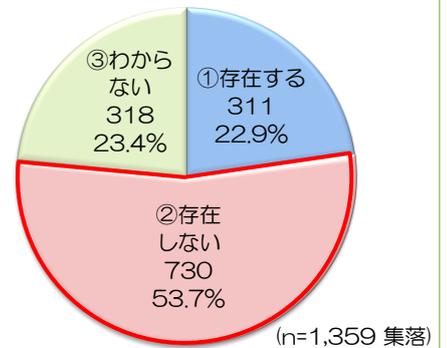
現在の主要産業も、**60.8%**の集落で、「**農業**」と回答しています。

集落の主となる産業の**後継者**について、**53.7%**の集落で、「**存在しない**」と回答しています。

複数回答



■主要産業の後継者の有無



(現在)

複数回答



今後、産業の振興につながる資源

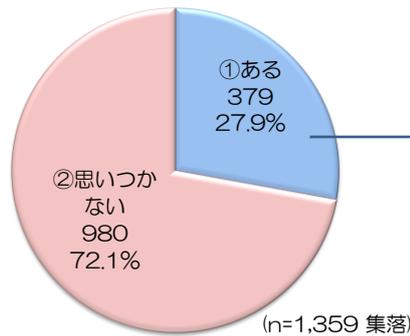
集落代表者聞き取り調査

今後の**産業振興につながる資源**の有無については、

27.9%の集落で、「**ある**」と回答しています。

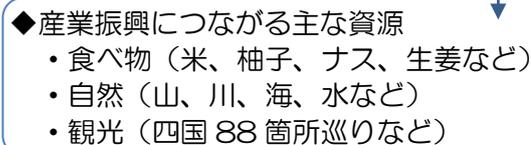
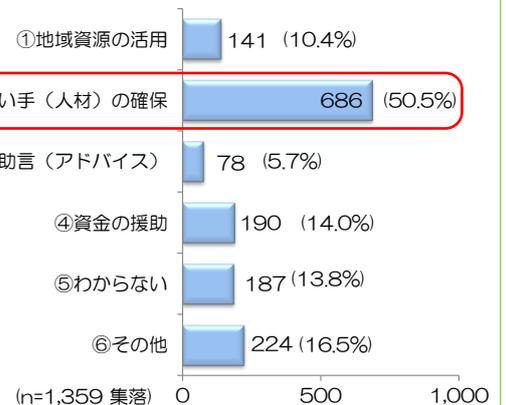
今後、**産業振興に必要なもの**としては、**50.5%**の集落で、「**担い手(人材)の確保**」と回答しています。

■産業振興につながる資源



■産業振興に必要なもの

複数回答



耕作放棄地

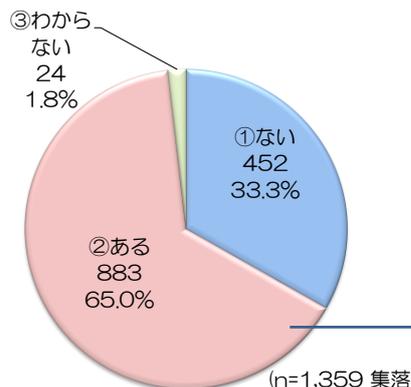
集落代表者聞き取り調査

耕作放棄地について

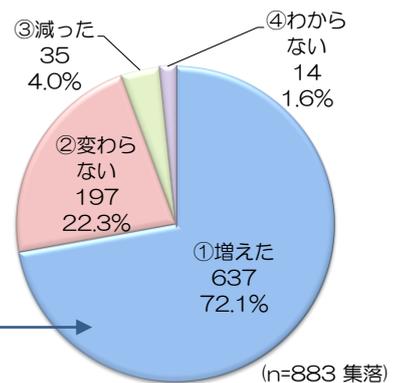
65.0%の集落で、「**ある**」と回答しています。

これらの、耕作放棄地が「ある」と答えた集落のうち、**72.1%**の集落で、耕作放棄地が「**増えた**」と回答しています。

■耕作放棄地の有無



■耕作放棄地の増減



◆耕作放棄地解消へ向けた主な取り組み

- 農作物の生産
- 草刈り
- 農地の賃貸 など

手入れされていない山林

集落代表者聞き取り調査

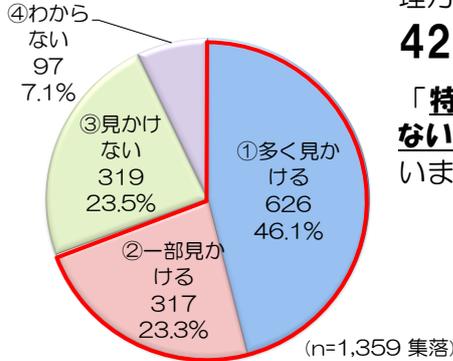
手入れがされていない山林について、

69.4%の集落で、「見かける」と回答しています。

これらの、「見かける」と回答した集落のうち、手入れがされない理由について、

75.1%の集落で、「財産としての価値がない」と回答しています。

■手入れがされていない山林の有無



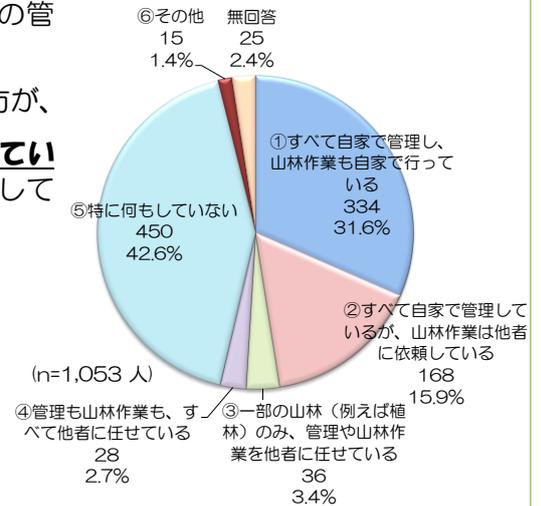
山林所有者の日頃の管理

世帯主アンケート調査

山林を所有している方の、日頃の管理方法は、

42.6%の方が、「特に何もしていない」と回答しています。

■山林の日頃の管理方法



漁業後継者の有無

集落代表者聞き取り調査

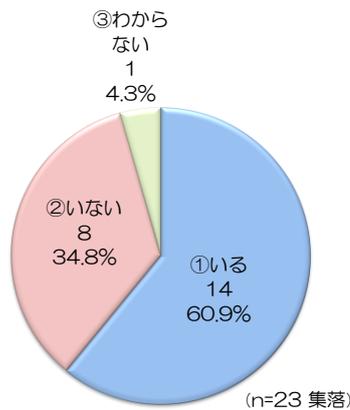
漁業後継者の有無について、

60.9%の集落で、「いる」と回答しています。

また、後継者を増やす取り組みについては、

26.1%の集落で、「Uターン者の積極的な受け入れと、その支援」と回答しています。

■漁業後継者の有無



■後継者を増やす取り組み



野生鳥獣による被害

集落代表者聞き取り調査

鳥獣による農林被害について、

94.3%の集落で、「ある」と回答しています。

また、地域ぐるみで取り組んでいる鳥獣害対策としては、

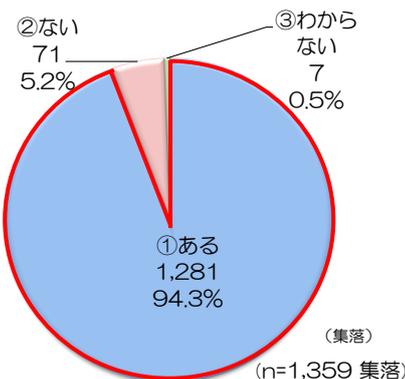
◆個別の取り組み 44.6%

◆取り組みなし 26.5%

◆地域ぐるみでの柵 15.6%

と回答しています。

■鳥獣被害の有無



◆特にイノシシ、カラス、シカ、サル等による被害が広範囲で発生している

■地域ぐるみの鳥獣害対策



(4) 集落代表者、住民の皆様が感じていること

集落代表者から見た集落の課題

集落代表者
聞き取り調査

集落代表者が思う、集落で困っている事（課題、悩み）は、

- ◆高齢化による**地域活動の沈滞化**（人員の確保など）
- ◆集落長の**ない手(後継者)がない**、若者がいない
- ◆**飲料水や生活物資の確保の問題**や、**交通**などの生活の不便

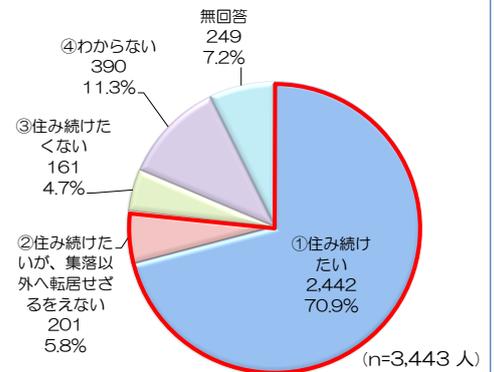
今後も住み続けたい

世帯アンケート調査

集落に住んでいる方のうち、

76.7%

の方が、「**住み続けたい**」と回答しています。



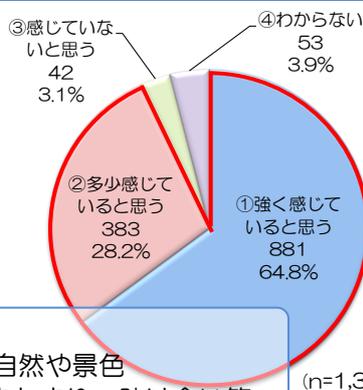
集落への「愛着」や「誇り」

集落代表者聞き取り調査

集落に対する「愛着」や「誇り」について、

93.0%

の集落で、「**感じていると思う**」と回答しています。



近隣の集落との連携

集落代表者聞き取り調査

集落の活動、伝統行事やイベント等について、

94.2%の集落で、

「**既に行っている**」、「**今後、行いたい**」と回答しています。

(近隣との連携)

複数回答



◆主な「誇り」や「愛着」

- ・住みやすい環境
- ・自然や景色
- ・人情(人)
- ・集落のまとまり、助け合い等

(n=1,359 集落)

◆今後、行いたい主な取り組み

- ・自主防災活動
- ・イベント、交流事業
- ・農作業等の共同作業

5 今後の取り組み

集落調査から、人口の減少、高齢化の進行による様々な活動の後継者不足、生活への不安、鳥獣による被害など、中山間地域の集落の課題が浮き彫りになりました。

一方で、地域への**誇り**や**愛着**、**集落どうして助け合いながら住み続けたい**という、住民の皆様方の思いを確認することができました。

これからの取り組みの3つのキーワード

◇ 集落活動や産業を担う **人** の育成・確保

地域内外の人材（高知ふるさと応援隊等）の支援

◇ 安心して暮らすための住民同士の **絆** の大切さ

見守り活動の充実、自主防災活動の充実、あったかふれあいセンターの機能の充実 等

◇ 近隣集落や他の地域等との **ネットワーク** の必要性

地域活動、産業づくりでの連携の強化 等
中山間地域の集落同士で連携する地域の拠点（**集落活動センター**）への支援



**中山間地域で
一定の収入を得ながら、
安心して暮らしていける
仕組みづくり**